

高校生が描いたヒロシマ 原爆の絵画展

2017. 8.12 土 ▶ 8.13 日

10:00~17:00 (13日は16時まで)

広島平和記念資料館が主催する「次世代と描く原爆の絵」プロジェクトは、原爆被害の実相を後世に伝えていくために、広島市立基町高等学校創造表現コースの生徒が被爆体験証言者と共同で取り組んでいる事業です。生徒たちは証言者の被爆体験を聴き、何度も打ち合わせを重ね、また自ら資料を集め、約1年かけて「原爆の絵」を描きあげます。

また基町高校では、それとは別に独自の取り組みとしての「原爆の絵」の制作にも取り組んでいます。近年、被爆体験者の高齢化が進み、その体験の継承が急務となっている中、創造表現コースではこれからも一枚でも多くの原爆の絵を制作してまいります。

基町高校での「原爆の絵」制作の取り組みは今年で10年の節目を迎えました。これまでに制作した絵は119点となり、この度、生徒による実行委員会を立ち上げ本展覧会を企画いたしました。

原爆がもたらした悲惨さ、そして被爆体験証言者と生徒たちの平和への思いをご覧ください。

原爆の絵画展実行委員会



○ギャラリートーク

原爆の絵を制作した生徒によるギャラリートークを行います。制作者本人が描いた場面の説明や制作を終えての感想などを語ります。

[時間] 両日とも 13:00 ~ (1時間程度を予定)



[JR広島駅からの交通手段]

- 市内電車 広島港行(紙屋町経由)ー市役所前下車(600m)
江波行ー舟入町下車(400m)
- バス 広島バス 24番路線
吉島営業所行または吉島病院行ー加古町下車(200m)
- タクシー 約15分

指定管理者 公益財団法人広島市文化財団
JMS アステールプラザ
広島市中区加古町 4-17